

## 加工食品



# 宮城県 マルヤ水産(株)

## 『カニ・ギンザケ缶詰を香港・台湾・シンガポールへ』

### 【主な品目】

カニ缶詰、南三陸産銀鮭の醤油煮缶詰

### 【主な輸出先国・地域】

香港・台湾・シンガポール

### 【輸出取組の概要】

- ◆ 越境EC。香港、台湾、シンガポールでの現地+WEBイベント展開。
- ◆ 県内外への越境ECノウハウの共有、仲間づくり。
- ◆ シンガポール業務用卸売(懐石料理や居酒屋等の和食店、フュージョン料理店等)。

### 【輸出実績】(平成25年より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年	797	—	通年
平成27年	735	—	
平成26年	920	—	



香港・台湾料理  
教室イベント。SNS  
コンテストも実施→

### 【取り組む際に生じた課題】

- ・ 現地市場にない商品を起用し売り込む商社等の不在。
- ・ 東日本大震災を受け、メイン市場たるべき中国本土への出荷ができないこと。
- ・ 未知の商材の価値を伝え、買って頂くこと。越境ECも特に食品は発展途上。

### 【生じた課題への対応】

- ・ 自社で追加投資を少なく開始できる越境ECを展開。楽天(株)様の要望を受け、宮城、岩手、佐賀、岐阜、大阪泉佐野市、そしてオンライン講座にて講師担当。ノウハウ共有で食品の越境EC活性化、仲間づくりを目指した。参画企業が増えれば物量が増えインフラ改善を促すと思料。
- ・ 香港・台湾(宮城県事業)、シンガポール(復興庁事業)にてABC Cooking Studio様と楽天様、そして東北のサプライヤー企業仲間との協業により現地・WEBイベントを展開した。
- ・ 宮城県バイヤー招へい事業で成約したシンガポール企業の商談会に、県内他企業様と共に出展。先行事例としてノウハウ共有し業務用卸売の共同営業を展開。
- ・ 輸入規制による県内企業の不利益改善を宮城県食品輸出促進協議会として担当省庁へ要望。



シンガポールイベント



シンガポール業務用展示会

### 【対応の結果】

- ・ 越境ECに取り組む事業者が増え、今後意見交換ができる仲間が増えた。(例:宮城県3社→23社)
- ・ 現地潜在顧客層への利用シーンの啓蒙、購買機会の提示を行えた。現場フィードバックも得た。
- ・ 3か国とも現地の方の関心や味の評価は良かった。高い送料が購買の大きな障害と再確認。

### 【今後の課題・展望】

- ・ 越境ECは物流が進化しないと高コスト体系が変わらず継続購買が鈍る。改善可能性を探る。
- ・ 現地への伝え方を向上させる、ECで売り込む商材軸の拡大を図る。
- ・ 業務用卸売のパートナー探し。他の東南アジア諸国への卸売、越境ECの展開。



岐阜県庁セミナー

【活用した支援・施策】 宮城県「県産農林水産物等海外インターネット販売支援事業」、復興庁「輸出拡大モデル事業」

【ウェブサイト】<http://www.maruyasuisan.com/> \* 越境ECメイン販売サイト: <https://www.rakuten.ne.jp/gold/maruyasuisan/export/>

【連絡先】 担当者名: 常務取締役 千葉 卓也、TEL: 0223-34-8358